

中学校学習指導要領解説数学編第2章 2D(1)②「傾向を読み取り，批判的に考察し，問題解決に取り組むこと」(p.55) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

(傾向を読み取り，批判的に考察し，問題解決に取り組むこと)について，中学校数学科においては，資質・能力として，主に次のア，イの育成を目指して指導が行われる。

ア データの分布や母集団の傾向に着目して，その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること

統計を活用して問題解決することができるようになるためには，(A)生活や(B)における問題を取り上げ，それを解決するために必要な(C)を収集し，コンピュータなどを利用して処理し，データの(D)を捉え説明するという一連の活動を生徒が経験することが必要である。また，考察の結果としてただ一つの正しい()が導かれるとは限らないことは，この領域の特徴である。それゆえ，()の()解決の過程を振り返ったり，(B)における()調査の方法などを多面的に吟味したりするなど，()に考察できるようにする。

イ 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること

(A)生活や(B)における(E)な事象は数学の考察の対象であり，その()やすさの程度を数値で表現し把握するなど，(E)な事象の起こりやすさの(D)を読み取り表現することができるようにすることが大切である。指導に当たっては，(E)な事象を扱うというこの領域の特性に配慮し，正解を求めることができるということだけでなく，生徒が自分の予測や判断について()を明らかにして説明できるようにする。

また，例えば，「確率が $\frac{1}{6}$ である」ことを求めるだけでなく，「確率が $\frac{1}{6}$ である」ことの意味を理解し，それに基づいて()したり説明したりすることができるようにする。指導においては，生徒がこうしたことを意識できるように，(A)生活や(B)などに関わる疑問をきっかけにして，問題を設定しその解決の方策を探り，答えを求めるという()をもった活動ができるようにすることが大切である。「確率が $\frac{1}{6}$ である」だけでなく，「確率が $\frac{1}{6}$ だから…」も大切にして指導することが必要である。また，こうした活動を通して，()したり判断したりした結果を具体的な事象との関係で見直し，()・改善することにも取り組むことができるようにする。

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、

気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5段階自己評価 ()

■